

コカナダモ

名前から想像できるように、コカナダモは北アメリカの原産です。昭和初期に実験用植物として輸入されたものが、今では日本全国に広く分布しています。湖沼、ため池、河川、水路などに、水に沈んだ状態で生育します。

長い茎に、細長い小さな葉が3枚ずつつきます。このような葉のつき方を「3輪生（りんせい）」とよびます。

春から夏にかけて小さな白い花を咲かせます。コカナダモによく似たオオカナダモは南アメリカ原産で、日本各地に分布しています。オオカナダモはコカナダモもより大型で、葉の数が3～5輪生です。オオカナダモの花はコカナダモより大きいので、水面上に咲かせた白い花がよく目立ちます。

富士市での現状

コカナダモは富士市の傾斜が緩やかな地域や平野部を流れる河川や水路に広く分布しています。市街地を流れる水路や水位の変化が大きい水路などにも生育が見られ、富士市で分布が広い水草の代表種です。しかし、流れが速く、川床に石や岩が多い河川の上流には見られません。

オオカナダモも富士市に分布していますが、コカナダモほど多くはありません。オオカナダモは水路や池で生育が確認されています。



(上) コカナダモ (下) オオカナダモ

コカナダモを確認したメッシュ

